



# B€theONE News

“かけがえのない存在”たれ!

B€the ONE 羽衣国際大学  
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科  
放送・メディア映像学科  
人間生活学部 人間生活学科  
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1  
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005  
http://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索



今回いただいた賞にふさわしい選手になれるよう練習に励み、次は盗塁賞や首位打者賞を取れるように頑張ります。



関西学生リーグ・ベストプレー賞  
吉井穂乃花  
現社/スポーツ1年

## キラリと光ったベストプレーヤー



美羽会賞(羽衣学園同窓会)  
村田彩莉  
現社/スポーツ1年

このような賞をいただき、大変うれしく思います。これからも練習に励み、来年もMVPが取れるように頑張ります。

# Dream is infinite!

~夢は無限大~



チームスポーツにおける協調性と選手の特徴をいかにしながら、強く、たくましく、そして愛されるチームづくりを目指します。

# 健闘!! 初残留

ソフトボール関西学生秋季リーグ2部

女子ソフトボール部は関西学生春季リーグで3部3位となり、秋季リーグは2部で戦った。1次予選リーグの初戦は零封を喫したが、2戦目は投打で圧倒してコールド勝ちを収めた。2部の他チームの勝敗状況から「勝てば残留、負ければ降格」という3戦目。先制点を挙げた羽衣国際大は、相手の反撃を断って勝利し、2部残留を決めた。元々「西日本インカレ出場」「1部リーグ昇格」を目標に掲げてスタートしたチーム。春季リーグの成績により、いずれの目標も達成することができなかったが、定め直した目標の「2部リーグ残留」は達成した。しかし、2次部別リーグは打線が抑え込まれ、4戦中、3戦が完封負け。最終戦は4得点を奪ったが、白星は遠く、2部6位と悔しい結果になった。

それでも1、2年生主体の若いチーム。ミスから学ぶことも多いはず。冬季には恒例の合宿に加え、日本女子リーグ1部のSGホールディングスと練習合宿を行うなど、積極的に個々のレベルアップも図った。収穫と課題が入り混じった秋季リーグをどんな成長につなげるのか。2019年度の春季リーグで結果を見せたい。



主将コメント

「秋季リーグは1次予選リーグ(II部)を2勝1敗で通過し、創部初のII部残留をすることができました。チームとして一歩前進できたと思います。しかし、2次部別リーグでは1勝も挙げられず、II部6位という悔しい結果に終わりました。チームの課題を来年度の春季リーグまでに克服し、「I部リーグ昇格」「全日本インカレ出場」を目指し頑張ります。応援よろしくお願ひします。」  
堀井万由(食物栄養学科2年)

## 大会成績

- ◆関西学生秋季リーグ(2部)
  - 【1次リーグ】
    - 羽衣国際大 ● 0-5 大阪国際大
    - 7-0 びわこスポ大
    - 6-2 大阪体育大
  - 【2次リーグ】
    - 羽衣国際大 ● 0-5 武庫川女大
    - 0-5 関西大
    - 0-6 同志社大
    - 4-6 天理大
- ◆関西学生新人戦
  - 【一回戦】
    - 羽衣国際大 ● 3-7 園田学園女大

### 和歌山冬季合宿

恒例の和歌山冬季合宿(田辺市)を2018年12月23~27日の日程で行いました。今年も四條畷学園高校と2日間の合同練習や、来春入学の新入部員も参加してのトレーニング。基礎練習や投打練習、ゲーム形式の練習など充実した5日間を過ごすことができました。



## Memories of 2018-19



# 真価を發揮せよ

## 秋季リーグⅢ部4位

硬式野球部

### 成長感じさせる4勝



#### 収穫と課題

近畿学生野球Ⅲ部リーグの優勝と、Ⅱ部リーグへの昇格を目標に掲げて臨んだ秋季リーグ戦は4勝5敗で負け越し、Ⅲ部リーグで4位となった。

9戦中、先制点を挙げた5試合では4勝1敗。先手必勝の重要性を再確認できた。また、3戦目の大阪大戦では最終的に3点差を逆転する粘りも発揮した。

一方で、2次リーグではサヨナラ負けが2試合あった。特に1次リーグで勝利した大阪大との初戦をサヨナラで落としたことで出鼻をくじかれ、3戦目もサヨナラ負け。2次リーグは全敗と悔しい結果になった。

また、リーグを通して完敗した試合が3試合あった。不戦勝を除く8試合で36失点(昨春26失点)の守備力に課題はあるものの、昨春からは失策数が減少し、守備の内容も良くなった。

## 先手必勝、最終回逆転勝ち、失策減、安打増

攻撃面では大事な場面で一打がでない試合が目立ったが、安打数は増加。成長の一端を感じさせた。

結果は4位だったものの、春季リーグの5位を上回った。1点差で敗戦した試合を勝利に結びつけることができれば、優勝争いができる位置にいることも事実だ。



#### 新人戦ベスト8

1・2年生で行われる新人戦では、リーグ戦Ⅲ部2位の奈良教育大に7回コールド勝ち。川島光翔(1年)の好投と竹本琢哉(1年)の2点本塁打などが勝利に結びついた。

#### 大会成績

近畿学生野球連盟秋季リーグ(Ⅲ部) 1次リーグ  
羽衣国際大 7・0 奈良大  
○7・5 大阪大

2次リーグ  
羽衣国際大 5・6 大阪大  
●1・6 奈良教育大  
●1・2 神戸医療福祉大

近畿学生野球連盟新人戦 羽衣国際大  
2回戦 ○9・2 奈良教育大  
準々決勝 ●3・13 大阪市立大

# 練習意欲の高さや精神面の強さがチーム力を高める

**主将** 山東巧 (3年・リードオフマン)

**走** 安東滉平 (3年・副将)

**打** 山地悠陽 (3年・副将)

**投** 渡辺亮 (3年)

**守** 濱村航大 (3年)

**新人戦で** 竹本琢哉 (1年)



### 硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。

目指すは、

- 礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部
- 皆から愛される大学野球部

を創ること



部長 合澤浩之 (現代社会学部教授 早稲田大学出身)

総監督 竹之内雅史 (神奈川・鎌倉学園高校)

監督 伊丹康治 (本学職員)

日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

「美羽会」特別表彰式 強化クラブの活動を称える

2018年12月9日、本学同窓会の「美羽会」が主催する「強化クラブ特別表彰式」が、学長、事務局長も参席して開催されました。表彰式は4つの強化クラブに所属する学生の頑張りを称えるもの。各部の活動報告に続き、各部のMVP選手に美羽会の濱下会長から賞状と記念の品が授与されました。

表彰式後、同窓会、各部の指導者、選手らが食事をしながら懇親を深めました。強化4クラブは、同窓会からの支援も受け、さらなる飛躍を目指します。

【各部MVP選手】

- ◆硬式野球部 桂田大成(4年) 主務としてチームを常にけん引した。
- ◆駅伝部 宇田川里奈(2年) 昨夏以降、急成長。駅伝エース区間抜擢、その他、競技会で優勝した。
- ◆女子ソフトボール部 村田彩莉(1年) 今季急成長、チームの主力打者へと成長した。
- ◆バドミントンクラブ 上江洲虹歌(3年) キャプテンとして2部昇格に貢献。学業の頑張りも称えられた。





女子駅伝部

# 全カチつないだ

## 関西学生女子駅伝11位

### 粘り強く前回記録を更新

苦戦覚悟の駅伝で見えた成長と収穫

9月の関西学生女子駅伝に前回11位を上回る10位を目標に挑んだ。

1区は池田(1年)を起用。序盤からリズムに乗れず、ラスト1kmも苦しい走りとなった。予定より20秒遅れたが、1区を経験させることまで成長してくれたことはチームの収穫だ。

2区は久須(1年)を起用。順位を1つ上げてくれ無難に走ってくれた。

3区は夏以降に急成長を見せている宇田川(2年)。中盤以降のペースダウンが最小限に抑え、後半も粘り強く走ってくれた。4区は主将の南野(3年)。現状の力を発揮してくれ、昨年の駅伝からの成長を感じさせた。

5区は、実習明けであったが最も良いコンディションの福田(4年)に任せた。後半に失速したものの、無事にたすきをつないでくれた。

6区は夏以降にコンディションが上がってこなかったものの、ぎりぎり間に合った岡(2年)を起用した。本来の調子ではなかったが、区間9位でまともな走りをしてくれた。厳しいコンディションでも走れる力を身に

付けていると感じた。結果は1時間48分32秒で11位。目標に届かなかったのは、夏に貧血者、故障者が相次ぎ、万全な状態で挑めなかったことにある。

ただ、昨年はほぼ完璧な状態で、1時間48分36秒だった。わずかではあるが、万全とは言えないなかで昨年の記録を上回ったことに、チームの成長を感じることができた。次年度はコンディションングを意識し、全国出場をつかみとり

#### 宇田川優勝 池田3位

#### 関西学生新人女子1500m

9月に行われた関西学生新人選手権の女子1500mに3人が出場。宇田川里奈(現代社会学科2年)が4分48秒35で優勝し、3位に池田亜由佳(人間生活学科1年)、5位に久須優奈(食物栄養学科1年)が続き、全員が入賞した。

## 信太山クロスカントリー

### 宇田川と池田が大会新V

地元大会で2019年始動



練習の一環として地元のクロスカントリー大会に出場。起伏が激しくタフなコースだったが、宇田川が3km、池田が5kmをそれぞれ大会新記録で制した。10km2位の南野はもう少し実力を発揮してほしいかった。

この大会で羽衣国際大の優勝・入賞は初。序盤のローペースが響き、記録は平凡だが、夏の練習成果と成長を確認できたレースとなった。



### Report

#### 関西学生種目別選手権(10月)

1500mで宇田川が自己記録を更新して3位入賞を果たした。残り250mまで先頭を引っ張っていたが、ラストパートで優勝争いから遅れた点が課題。ラストを磨けば、さらにレベルアップできる。



#### 1万m記録挑戦会(11月)

岡が34分47秒75の自己新。インカレB標準34分40秒00突破にあと一步だった。



池田(中央)36分16秒2。宇田川(17)36分27秒5。ともに自己新。関西インカレと西日本インカレのA標準を突破した。

#### 泉州国際マラソン(19年2月)

岡と南野の2名が初マラソンに挑戦し、ともに力不足を実感する結果に。来季は万全の状態でのレースに臨めるようにしたい。ハーフは池田が有言実行のV。古田と久須も入賞し、期待の1年生が健闘した。出場選手は「たくさんの応援が頑張るエネルギーになりました」と話していた。



ハーフ入賞の久須、池田、古田(左から)

#### 羽衣から新たなステージへ

福田 明里  
人間生活学部卒業  
ロングライフホール  
ディング株式会社就職

「介護福祉士を目指して、何事にも前向きに取り組みました。部活動でも達成感や自信を持ってました。卒業後も競技を続け、支えてくれる方々に恩返しができるよう頑張ります」

東美月  
現代社会学部卒業  
株式会社  
池田泉州銀行に就職

「私は食物栄養学科から転部しましたが、多くのサポートのおかげで現状から迷わずに成長できました。感謝の気持ち忘れず、大学生活で得たことを活かして、仕事に励みます」

#### 大会成績

- ◆関西学生新人選手権  
▽1500m①宇田川4分48秒35③池田4分50秒34⑤久須4分55秒45
- ◆関西学生対校女子駅伝  
▽6区間300km⑩羽衣国際大1時間48分32秒(池田⑩久須⑩宇田川⑩南野⑩福田⑩岡⑩※丸中数字は区間順位)
- ◆関西学生種目別選手権  
▽1500m③宇田川4分43秒57⑦池田4分46秒48▽3000m障害⑤久須11分50秒73
- ◆1万m記録挑戦会  
▽1組⑤岡34分47秒75
- ◆関学記録会  
▽1万m1組⑦池田36分16秒2⑨宇田川36分27秒5

#### 2018年度自己記録更新者

選手名	種目	記録
南野 結芽	1500m	4' 43" 57
	5000m	17' 23" 03
宇田川里奈	1万m	36' 27" 45
	5000m	17' 04" 25
池田亜由佳	1万m	36' 27" 5
	5000m	17' 18" 25
古田 美月	1万m	36' 16" 2
	5000m	17' 51" 42
岡 奈津美	1万m	34' 47" 75
	3000mSC	11' 31" 83

#### DATA

5000mチーム平均記録	年	記録
2016年	18' 10	
2017年	17' 50	
2018年	17' 28	



# 昇格

バドミントンクラブの快進撃

男子4部へ  
女子2部へ



## 日野3位

関西学生新人シングルスB

準々決勝で第1シード下す

2018年11月に行われた関西学生新人戦で女子シングルスBの日野は準々決勝で第1シードの森山(大経大)と対戦。1・1で迎えたファイナルゲームは積極的に動いて攻撃し、21・

18で有力選手に勝利した。その勢いで準決勝に臨んだが、村田(大谷大)に14・21、7・21で完敗し、3位となった。

男子は福原がシングルスBで順調に勝ち上がり、5回戦に進出。ベスト8を懸けた対戦はストレート負けを喫した。



→女子シングルスBで4強に進出した日野(写真は関西学生選手権)

## 関西学生リーグ 男子5部 女子3部 準優勝

バドミントンの関西学生秋季リーグは2018年9月に行われ、羽衣国際大の男子は5部、女子は3部に参戦。ともに準優勝を果たし、入替戦も勝ち抜いて、男子は4部へ、女子は2部への昇格を決めた。2019年度春季リーグは高いレベルの戦いにチャレンジする。

**女子・激戦の入替戦を制す**

女子は2017年秋季リーグ5部優勝、2018年春季リーグ4部優勝で3部へ上がり、今回3季連続の部別優勝は逃したが、リーグ参戦3シーズン目で2部へと、スピード昇格を果たした。

秋季リーグの初戦は相手の人数不足によりオープン戦として実施。2、3戦目は知念、日野を中心に4・1で快勝した。4戦目は知念が単復で勝利したが、一歩及ばず2・3で黒星を喫した。

リーグ最終戦は第1、2シングルスを奪った後、第1ダブルスで敗れたが、第2ダブルスの日野・安次富組が流れを渡さず、21・17、21・7で快勝し、3部準優勝を決めた。

【女子リーグ戦メンバー】	【男子リーグ戦メンバー】
上江洲虹歌 (食物栄養学科3年)	岡村充 (現代社会学科3年)
知念さつき (食物栄養学科2年)	北嶋遼平 (現代社会学科3年)
中村茉莉子 (食物栄養学科2年)	福原怜司 (現代社会学科1年)
山内瑛未 (食物栄養学科2年)	松本多朗 (現代社会学科1年)
日野あかり (食物栄養学科1年)	北野暖樹 (現代社会学科1年)
安次富ひより (現代社会学科1年)	
渡邊遥 (現代社会学科1年)	



## 大阪学生団体戦

男子5部 女子4部

入替戦は2部7位の神戸大との対戦。第1、2シングルスをとす苦しい展開になったが、ダブルスの知念・山内組、日野・安次富組がともにファイナルゲームにもつれ込む接戦を制し、タイに戻した。

その勢いで最終シングルの知念が21・16、21・19で勝利。2部昇格を引き寄せた。

**男子・入替戦完勝で昇格**

男子は5部Cブロックに参戦し、4連勝でブロック優勝を決めた。各ブロックの優勝校による5部の順位決定トーナメントは準決勝で岡村と福原がシングルスで勝利し、2人が組んだダブルスも第1ゲームを奪われたが、続く2ゲームを連



バドミントンクラブは大阪学生団体戦でもリーグ戦同様に好ゲームを展開。女子が強敵近畿大に勝利するなどして4部優勝を飾り、男子も5部を制覇。仲良く昇格を決めた。

取して逆転勝ち。決勝に進出した。

決勝では岡村・福原組の1勝にとどまり、惜しくも敗退したが、4部との入替戦に進んだ。和歌山大との対戦は3・0で完勝。女子に続き、男子も上位の部へ昇格を果たした。

大会成績		
◆関西学生秋季リーグ(9月)		
男子5部Cブロック	0・5・0 追手門学院大	
羽衣国際大	0・4・1 帝塚山大	
0・5・0 関西外語大		
0・4・1 京都外語大		
▽5部順位決定トーナメント		
羽衣国際大	0・3・1 大阪大谷大	
0・1・3 兵庫県大姫路		
▽男子入替戦		
羽衣国際大	0・3・0 和歌山大	
☆4部に昇格		
「女子3部」	羽衣国際大	0・5・0 奈良教育大
0・4・1 大阪大		
0・4・1 大阪経済大		
0・2・3 大阪市立大		
0・3・2 四天王寺大		
▽女子入替戦		
羽衣国際大	0・3・2 神戸大	
☆2部に昇格		
◆関西学生新人戦(11月)		
「男子Bシングルス」	福原(1年) ベスト16	
松本(1年) 2回戦敗退		
北野(1年) 1回戦敗退		
「男子Bダブルス」	松本・北野組 2回戦敗退	
「女子Bシングルス」	日野(1年) 3位	
▽準々決勝	0・2・1 森山大経大	
▽準決勝	0・0・2 村田(大谷大)	
知念(2年) 2回戦敗退		
山内(2年) 棄権		
安次富(1年) 2回戦敗退		
「女子Bダブルス」	知念・中村(2年組) 2回戦敗退	
日野・安次富組 3回戦敗退		
◆大阪学生団体戦(12月)		
「男子5部B」	羽衣国際大	0・3・0 大阪経法大
0・3・0 関西外大		
「同じ5部決勝」	羽衣国際大	0・2・1 四天王寺大
「入替戦」	羽衣国際大	0・2・1 大阪工業大
0・2・1 大阪大谷大		
「女子4部」	羽衣国際大	0・2・1 大阪大谷大
0・2・1 近畿大		
「入替戦」	相手棄権により入替戦行わず	
☆3部に昇格		

## New クラブハウス竣工

部室・トレーニングルーム完備

2018年10月、1号館の隣にクラブハウスが完成し、松井基純理事長、吉村宗隆学長らが出席して竣工式が行われました。2階建てのクラブハウスは強化指定クラブ(硬式野球部、女子ソフトボール部、女子駅伝部、バドミントンクラブ)の部室やトレーニングルームなどを完備。クラブ活動に取り組み学生の成長を支援するのにもふさわしい環境です。



クラブハウス部室 竣工式